

コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金実績報告（公開用）

令和3年2月28日

項目	内容
事業者名	会社名：株式会社フェズ 代表者職名・氏名：代表取締役 伊丹順平
補助事業テーマ	観光データを活用した、地域着地型事業開発デザインプログラム
事業実施期間	令和2年10月19日～令和3年2月28日
事業の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1 府域観光におけるデジタル基盤（Google マイビジネス）の形成 2 来訪者の属性分析・定量調査 3 デジタル基盤形成の実現に向けた定性情報の取得
事業の実績（成果）	<ol style="list-style-type: none"> 1 実施した取組 <ul style="list-style-type: none"> ○ Google マイビジネス登録サポート <ul style="list-style-type: none"> ○ バナー広告を活用した府域への来訪促進と定量データ取得 ○ アクティブワーキングを通じた定性情報の取得 2 得られた結果 <ol style="list-style-type: none"> a)Google マイビジネス登録 府域事業者 2000 拠点の登録目標に対して、33 拠点 / 2000 拠点 b)来訪計測 広告掲載期間 2020 年 12 月 1 日～2020 年 12 月 25 日 54,712,897 回の広告表示に対して、来訪者：18,475 名 広告接触から来訪までの平均日数：13.4 日 ビジネスマンや未婚者、20 代フレッシュヤーズなどの移動の自由度が高いユーザーの来訪計測を観測 c)アクティブワーキング 受け入れ側の地域でもワーケーション文脈は醸成されておらず、旅マエのウェブ上の情報提供も不十分な状態である。一方で訪問後の満足度は総じて高く、情報整備の精度を高めることにより来訪理由を創り出すことが可能。また、情報提供の際には「観光名所」・「食」などの個別の点ではなく線を意識した情報提供が好ましい。 3 実施における課題と対応策 事業者個々の IT リテラシー／ネット集客に関する課題意識に濃淡がある／地域一体となった事業推進 これらを SaaS 型のプロダクト制作・導入支援を通じて課題解を行っていく。
今後の展望	<ol style="list-style-type: none"> 2 社の展望 フェズによる SaaS プロダクトの導入を通じた Google マイビジネスの整備後、地域事業者の巻き込みや事業活性化のための調査手法としてアクティブワーキングを活用する。 フェズの展望 <ul style="list-style-type: none"> ● 府域のデジタル活用を推進しながら、プロダクト販売によるビジネスモデルを確立する ● 本事業で確認された府域事業者の IT リテラシーの向上を目指し、Google との共同セミナーやデジタルを活用した集客セミナーなどを活用し、啓蒙活動を続ける IB の展望 <ul style="list-style-type: none"> ● 自治体や DMO など公共団体に、地域ブランディングの方針を建言する ● 訪問先事業者を中心に、調査結果を共有、対話から次の展開を検討 ● 現地にて事業意向が存在する場合、地元事業者の意向調査や、ワーケーションターゲットを対象とするデザインリサーチを実施